

# 金華山の蟻類五種に就いて (承前)

財團法人名和研究所技師

太田幸好

(金華山採集)一六頭、職蟻、一〇、八、一九三〇(荻谷氏)

(トビイロシワアリ職蟻の特徴)

體長 平均二、二七耗、最大二、五耗、最小二、〇耗

番 號	體長(耗)
1	2.0
2	2.3
3	2.3
4	2.4
5	3.5
6	2.0
7	2.5
8	2.0
9	2.5
10	2.3
11	2.5
12	2.3
13	2.3
14	2.2
15	2.1
16	2.3

體は黄褐色乃至黒褐色、觸角の鞭狀部、上顎及び脚の基節、跗節は淡黒褐色、觸角は十二節よりなり鞭狀部の先端の三節は球棍狀を呈す、頭部は方形にして幅より丈長く、後縁彎曲し、胸部よりも幅廣く縦皺を具ふ、額面には粗毛生し、大顎は良く發達す、胸部の脊面は稍々平坦にして縦皺を具へ、後胸には二個の短刺を裝ふ、腹柄節は平坦にして稍々卵形を呈し、第二腹柄節は横位を呈す。腹部は平坦にして光澤を具へ、尾端は淡赤褐色をなす。

習性 常に社會生活を營み、土中に營巢す、巢には禾本科植物就中穀類或は大根茄子等を貯藏する貯穀蟻にして主に食草性である、尙ほ *Harvesting ants* としては我邦に産する唯一のものである。

*Trib. Myrmecini ASHMEAD* カドフシアリ群

(カドフシアリ群の特徴)

中後脛節に刺を具へ、第二腹柄節は第一腹柄節の前端に連なり、額片は觸角挿入部の前方に於て稜縁をなす、體毛は多少有し、體は比較的短大。

Gen. *Pristomyrmex* MAYR アミメアリ屬

(アミメアリ屬の特徴)

觸角は十一節より成る。

3. *Pristomyrmex* (*Pristomyrmex*) *pungens* Mayr アミメアリSyno. *Pristomyrmex japonicus* Forel. *Mith. Schweiz. Ent. Gesell.* 10: 1900

(分布) 北海道、本州、四國、九州、朝鮮、臺灣、支那

(金華山採集) 三〇頭 職蟻 三〇、一〇、八、一九三〇(荊谷氏)

(アミメアリ職蟻の特徴)

體長 平均二・六五耗、最大三・〇耗、最小二・四耗

番 號	體長(耗)
1	3.0
2	2.5
3	2.5
4	2.7
5	3.0
6	2.5
7	2.7
8	2.7
9	3.0
10	3.0
11	2.7
12	2.5
13	2.7
14	2.5
15	2.5
16	2.5
17	2.5
18	2.5
19	2.7
20	2.5
21	2.5
22	3.0
23	2.5
24	2.5
25	2.7
26	2.6
27	3.0
28	2.5
29	2.4
30	2.8

體は黃褐色なれども個體に依り濃色のものあり頭楯、上唇、上顎、觸角の Club 肢の附節は淡色眼部は黒色、腹部は平滑にして光澤を具ふる黒褐色を呈す、頭部は丈より幅廣く後縁僅かに彎曲す、頭部及び腹柄節には明かなる網目狀の皺を裝ふ、體には白色の粗毛を具へ、頭楯の前縁には三個の棘狀突起を有し稍々長き白毛を生ず、胸部は後方に向つて狭まり、後胸には二個の銳刺を具ふ、腹柄節は二節より成り、第一腹柄節は短柄を有し長形にして第二腹柄節は球形、後者は前者よりも幅廣し。

習性—常に石下、落葉下及び樹木の空洞等に營巢し、タケノカヒガラモドキ *Aclorda tokionis* Cookerell 等と共に生活を營み、又樹木の空洞中には往々ツズミミノムシの幼蟲(コクガ科 *Tineidae*) と同生する事あり。ツズミミノムシの幼蟲は鼓若しくは蠶の繭の如き形狀を呈する暗褐色扁平の長さ一三乃至二四耗の簍の中に入つて生活するものなり。體長一三耗内外にして體は赤褐色、頭部は光澤ある褐色にて

長形を呈し、胴部は十二節にして第一乃至第二節は黒褐色若しくは褐色、頭部に向つて狭まり、胴部第三、第四節最も幅廣し、觸肢は鋭く淡色を呈し、胸脚は小形にして淡色。

其の他屋内にては菓子、砂糖等に蝨集し來つて之を食害する性あり、尙ほ本種には女王と認むべきものを見ず、故にその繁殖法は判明せず。

Sub-Fam. *Ponerinae* **LEPJEFFER** 刺蟻亞科

(刺蟻亞科の特徴)

腹柄節は一節より成り、第一腹節は多少收縮して第二腹節との間に明かなる狭縊部を具ふ、雌蟻並びに職蟻には刺を有す、觸角は九乃至十二節、雄蟻は長形にして、翅には二個の狭き肘室存す、蛹は繭を營ふ。

Trib. *Ponerini* **FOREL** 刺蟻群

(刺蟻群の特徴)

腹柄節は鱗片状を呈し、額脊は後方にて相會さんとする傾あり、その前方は劈楯の如き頭楯の後縁に挿入して平坦なる縁を形成す、觸角の挿入部は額脊にて蔽はる、腹部は彎曲す。

Gen. *Ponera* **LATREILLE** 刺蟻屬

*Formica*, pt., *Latr. Hist. Nat. Fourm.* p. 195 1802.

*Ponera*, *Latr. Gen. Crust. et Ins.* iv 128 (1804)

(刺蟻屬の特徴)

鬚鬚及唇鬚は二節より成り、單眼及び複眼は退化してその跡を止むに過ぎず、上頰は廣くその内縁に齒を具ふ、腹柄節は厚く稍々曲り、第一腹節は多少共收縮す雌蟻及び職蟻には刺を有す。(未完)